



河村尚子

齋井正幸

デイヴィッド・ヘルツォーク

市川和彦

呉 信一

荻野晋

沢田千秋

FOCUS

2.11 木・祝 河村尚子 ショパン・プロジェクト (全4回)  
第3回 「マヨルカ島からノアンへ」

文 関根哲也

プロジェクト第3回に向けて  
河村尚子

新年明けましておめでとうございます。2016年もどうぞ宜しくお願い致します！

2月11日に迎えるショパン・プロジェクト第3回。約1年ぶりの水戸公演となり、すっかり馴染みとなった水戸芸術館コンサートホールATM。今までは時間に余裕がありませんでしたが、今回こそ水戸という街を少しでも散策してみたいものです。

今回は「マヨルカ島からノアンへ」と題し、この時期(編集註: ショパンとジョルジュ・サンドがマヨルカ島に渡った1838年から、フランス中部ノアンにあるサンド邸に移る1839年頃まで)にショパンが手がけた作品にスポットライトを当てます。この頃のショパンは体調が優れなかったにも拘らず、作曲に関して大変意欲的、挑戦的で、あらゆる作品で画期的なユニークな実験をしています。例えば〈葬送行進曲〉を含むソナタ第2番。本来ならば最終楽章は華やかに効果的に終わるはずなのに、ユニゾン(オクターブ等の音程に拡がる同じ音を両手で弾くこと)という和声が聞き取り難い形を楽章を通して頑固に使用し、弱音で地味に保つ指示をすることで、反対に不気味な効果を得ています。その他、

今回のメインとなる〈24の前奏曲〉では、16小節しかない短い曲、〈雨だれ〉のように景色を描写した曲、初心者でも演奏できるような簡単な曲からエチュードのように難易度の高い曲、又、それぞれ性格が異なる作品が次から次へと出てくることから、どこかショパンの日記を読むようでもあります。心が弾む日、劇的な変化があった日、いつもと変わらない平和な日。音楽を聴いて頂き、より一層情緒や情景を感じ、想像して頂ければ嬉しいです！

2014年からスタートした河村尚子さんによる「ショパン・プロジェクト」(全4回)。第1回(2014年11月8日)は「バラードとノクターンを中心に」と題し、ショパンが切りひらいたジャンルとも言えるバラードとノクターンの名曲を聴き、第2回は「思い出のショパン〜師・クライネフに捧ぐ」をテーマに、〈舟歌〉、〈英雄ポロネーズ〉、ピアノ協奏曲第2番(ピアノ五重奏版)など、河村さんの恩師ウラジミール・クライネフ氏(1944~2011)との思い出深い作品が取り上げられました。

さすが“現代最高のショパン弾きの一人”と評される河村さんのピアノだけあって、このシリーズでも、その繊細なタッチ、無限のグラデーションを施した

音色、フォルテでもけって濁ることのない透明な響き、そしてお客様にショパンの魅力を届けようとする熱い心が、聴衆の皆様を魅了してきました。

また、河村さんの近況を交えたトークも、河村さんのあたたかい人柄を伝えるもので、毎回好評をいただいています。

「ショパン・プロジェクト」はいよいよ後半に入り、今回はショパン円熟期の名作と言える〈4つのマズルカ〉作品41、〈ソナタ第2番〉作品35、〈24の前奏曲〉作品28が取り上げられます。1838年、結核に冒されていたショパンは、女流作家のジョルジュ・サンドとともに地中海の島、マヨルカ島を訪れます。ショパンはそこで精神的にも肉体的にも変化に富んだ日々を過ごし、旺盛な創作力を発揮したようです。河村さんが“ショパンの日記を読むよう”と語る〈24の前奏曲〉のほか、名作の数々にどのような光を当ててるのか、どうぞご期待ください。

河村尚子ショパン・プロジェクト  
第3回「マヨルカ島からノアンへ」

2/11 木・祝 15:30 開場  
16:00 開演

会場 水戸芸術館コンサートホールATM

全席指定 一般3,500円

ユース(25歳以下) 1,000円

曲目 4つのマズルカ 作品41

ピアノ・ソナタ第2番 変イ短調 作品35

24の前奏曲 作品28

## 2.7 日 合唱セミナー 2016 講師：栗山文昭

## 合唱界の重鎮・栗山文昭氏による貴重なセミナーです！

文 関根哲也

我が国を代表する一流の合唱指揮者や作曲家を講師にお招きし、半日をかけて講習曲を練習する「合唱セミナー」。今回は、2005年以来、11年ぶり2回目となる栗山文昭氏をお迎えします。

栗山文昭氏は、15の合唱団を有する「栗友会」の音楽監督及び指揮者として活躍する傍ら、演奏会のプロデュースやコンクールの審査等でも多忙な我が国の合唱界の重鎮。2010年、ニューヨークで開

催された日本祭において、小澤征爾指揮のブリテン〈戦争レクイエム〉の合唱指揮という大役を務めたことは、記憶に新しいところでは。

その栗山氏が選んだ講習曲は、モーツァルト〈アヴェ・ヴェルム・コルプス〉と信長貴富〈夕焼け〉の2曲。片やモーツァルト晩年の古典的名作、片や現代日本の気鋭の作曲家による混声合唱曲ですが、いずれもゆっくりとしたテンポによる「祈

りの音楽」という点で共通しています。栗山氏の指揮で、2つの名曲をぜひ一緒に歌ってみましょう。

合唱セミナー 2016  
講師：栗山文昭

2/7 日 10:00 開始  
16:00 終了予定

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM  
参加チケット代：一般 1,000円・高校生 500円・中学生以下 300円 ※楽譜は別途ご用意ください。

## 2.26 金 ちょっとお昼にクラシック

## 輝ける響きへ、スーパー・ブラス・アンサンブル！

文 中村晃

気軽にランチタイムにお楽しみいただく「ちょっとお昼にクラシック」公演。今回は、題して「スーパー・ブラス・アンサンブル」！輝かしい金管楽器によるアンサンブルの数々をお贈りします。

出演者をご紹介します。水戸室内管弦楽団(MCO)の楽団員代表の猶井正幸さん(ホルン)。近年エキストラ奏者としてMCOの第1トランペットの席に座る、デイヴィッド・ヘルツォークさん(トランペット)。新日本フィルハーモニー交響楽団で活躍する市川和彦さん(トランペット)。MCOのエキストラ奏者として欠かすことのできない呉信一さん(トロンボーン)。東京フィルハーモニー交響楽団に在籍する荻野晋(チューバ)さん。そして、彼らが信頼を寄せる沢田千秋さん(ピアノ)という面々です。演奏会では、4種類の金管楽器の個性が光るソロ曲から金管五重奏曲までをお楽

しみいただきます。ホルン・ソロ曲は、19世紀末から20世紀前半に活躍したソヴィエト連邦の作曲家グリエールによる、ホルンの柔らかい音色が美しい〈夜想曲〉作品35の10。トランペット・ソロ曲は、20世紀アメリカの作曲家トムソンのくつろいだ情趣をもつ〈アット・ザ・ビーチ〉。さらにトランペット2本で、デューク・エリントン楽団の不朽のジャズ・ナンバー〈A列車で行こう〉が演奏されます。トロンボーン・ソロ曲は、20世紀フランスの作曲家、ピアニストであるドゥファイの勇壮で古雅な〈バッハ風小品〉。そして、チューバ・ソロ曲は、かの有名な「アーバン金管教本」を手がけたフランスのホルネット奏者、指揮者のアーバンによる技巧曲〈ヴェニスの謝肉祭〉の主題による変奏曲です。そして、管楽器の出演者全員による金管五重奏の演奏で、プロコフィエフの歌劇〈3

つのオレンジへの恋〉作品33からの抜粋、アントウェルペン(ベルギー)出身のルネサンス期の作曲家サートの〈舞曲集〉が取り上げられます。そして演奏会の最後は、ビゼーの〈カルメン組曲〉から、あのお馴染みのメロディも飛び出して、賑やかに締めくくります。

ちょっとお昼にクラシック  
輝ける響きへ、スーパー・ブラス・アンサンブル！

2/26 金 13:00 開場  
13:30 開演

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM  
全席指定 1,500円(1ドリンク付)  
出演 猶井正幸(ホルン)、デイヴィッド・ヘルツォーク(トランペット)、市川和彦(トランペット)、呉信一(トロンボーン)、荻野晋(チューバ)、沢田千秋(ピアノ)  
曲目  
プロコフィエフ：歌劇〈3つのオレンジへの恋〉  
作品33より  
グリエール：夜想曲 作品35の10  
ストレイホーン：A列車で行こう  
アーバン：〈ヴェニスの謝肉祭〉の主題による変奏曲  
ビゼー：〈カルメン組曲〉より「アラゴネーズ」、  
「ハバネラ」、「トレアドール」ほか

## 2.28 日 高校生のための水戸室内管弦楽団メンバーによる公開レッスン

## 日本を代表する管楽器奏者たちがアンサンブルの秘訣を伝授

文 篠田大基

茨城県との連携により開催してきた「高校生のための水戸室内管弦楽団(MCO)メンバーによる公開レッスン」。今年度2回目のレッスンを2月28日に水戸芸術館で開催します。今回のレッスンのテーマは、管楽器による室内楽。指揮者のいない少人数のアンサンブルには、大きな編成での演奏とはまた違った

難しさと面白さがあります。今回は、茨城県の県北、県央、県南から1校ずつが参加し、アンサンブルコンテストでしばしば演奏される作品を使ってレッスンを行います。日立第一高校(県北)のフルート三重奏による三浦真理〈想い出は銀の笛〉(抜粋)、佐和高校(県央)のクラリネット12名で演奏するネリベル〈コラール

高校生のための水戸室内管弦楽団  
メンバーによる公開レッスン

2/28 日 14:00 開場  
14:30 開始

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM  
講師 工藤重典(フルート)、四戸世紀(クラリネット)、猶井正幸(ホルン)  
入場無料(要整理券)  
整理券配布場所：水戸芸術館、茨城県立県民文化センター、日立シビックセンター、ナバホール

と舞曲)、牛久栄進高校(県南)の金管八重奏による三浦秀秋<クロス・セクション・ビュー>。どれも管楽器の魅力が詰まった作品です。今回の講師は、MCO

での活動をはじめ、国内外で活躍する3人の演奏家——工藤重典さん(フルート)、四戸世紀さん(クラリネット)、猶井正幸さん(ホルン)。管楽器のスペシャ

リストたちによるレッスンに加えて、恒例の講師によるミニコンサートもご紹介します。どうぞお楽しみに!

2015.11.29

### アルモニア Rosa 第3回コンサート

結成から12年、茨城を代表する女声合唱団の一つとして活動するアルモニア Rosaの演奏会を開催した。指揮は小柳景子さん、ピアノ・チェンバロは圓谷俊貴さん、1曲目のピアノは伊藤真理さん。鈴木輝昭作曲<宇宙の果物>、茨城の若手弦楽器奏者(ヴァイオリン:久保田綾香さん、野口わかかなさん、ヴィオラ:辻菜々子さん、チェロ:久保田佑里さん)と共演した信長貴富編曲<ヴィヴァルディが見た日本の四季>など曲目は実に多彩。若手作曲家の平川加恵さん委嘱作<十全なるそうび薔薇>(初演)では、色彩感と生命力溢れる演奏に大きな拍手が贈られた。アンコールは平川加恵作曲<薔薇のハーモニー>。《高巣》アンケートから■爽やかな秋にふさわしく、充実した力演に感動しました。特に<十全なる薔薇>は素晴らしい。パートのバランスもよく、豊かな音楽性に満ちていました。(水戸市:T.K.さん)■母親のような優しさや温かさがハーモニーとなって、会場を包み込んでいました。(神奈川県:H.M.さん)

2015.12.6

### 水戸の街に響け! 300人の《第九》2015

1999年に始まり、2001年と2002年を除き毎年開催してきた300人の《第九》が15回目を迎えました。故畑中良輔芸術総監督とこの企画の立ち上げについて話し合っていた頃、まさかここまで続くとは思っていませんでした。これもご参加くださっている皆様、茨城県合唱連盟をはじめとする関係機関の皆様、公演を聴きに来てくださるお客様ほか、《第九》を愛し支えてくださる多くの皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

今年のコーラスは、3歳(女の子)から90歳(男性)まで幅広い年齢層の方々が集い、総勢403名。人数が多ければ、歌声をまとめるのも大変になりますが、県合唱連盟の先生方の熱心なご指導により、練習の回を重ねるごとに上達していきました。本番では、打越孝裕先生の指揮のもと、見事に調和した歌声で、Alle Menschen werden Brüder(すべての人々は兄弟になる)というベートーヴェンがこの作品に込めた崇高なメッセージを歌い上げました。

4人の独唱者(結城滋子、山本彩子、小貫岩夫、清水良一)が力強い歌声で合唱を先導し、エレクトーン(小林由佳、八谷奈津美)、ピアノ(中村真由美、中村佳代)、ティンパニ(尾花章子)が息の合ったアンサンブルで声楽を支えてくれました。《関根》

2015.12.13

### 中村真由美&中村佳代 ピアノ・デュオ・リサイタル

水戸を中心に活動しているピアニスト、中村真由美さんと中村佳代さんが水戸芸術館では5回目となるピアノ・デュオ・リサイタルを開催した。今回は「舞曲 Vol.2」をテーマとし、2013年のリサイタルに続き、ピアノ・デュオによる多種多様な舞曲の魅力を追う趣向。ラフマニノフの名作<組曲第2番>と<交響的舞曲>をメインに、スペインのアルベニス、ファリャ等の作品を織り交ぜ、息の合った華麗なピアノイズムで聴衆を魅了した。《関根》アンケートから■演奏もすばらしく、曲目の選定もよく飽きさせなく、ファッションもすてき!楽しく聴くことができました。(水戸市の方)■近現代の華やかなリズム、旋律と民族的な重厚な響きが楽しかったです。2台のピアノの細やかなからみ合いも楽しく聴けました。また、お二人それぞれのよさが感じ取れました。(水戸市:R.U.さん)■2人の息があってすばらしい演奏でした。ピアノ・デュオというのはこうあるべきと教えられ、感じた演奏です。(ひたちなか市の方)

2015.12.23

### クリスマス・プレゼント・コンサート 2015

池辺晋一郎さんの企画と司会による2015年の「クリスマス・プレゼント・コンサート」は、おかげさまでチケット売上の大盛況となりました。プログラムには幅広いジャンルの音楽が並び、出演者も多士済々。コンサートは波多野睦美さんの歌とつのだたかしさんのリユートで幕が開き、波多野さんがシェイクスピア劇の古い劇中歌を歌えば、そこに池辺さんもピアノで加わって、ご自身のシェイクスピア劇用音楽を披露。コンサートの後半では木村大さん(ギター)や上野耕平さん(サクソフォン)、黒岩航紀さん(ピアノ)が圧巻の演奏を繰り広げ、女声合唱団コール・ヴィステリーは千田悦子さんのハーブにのせてクリスマス・キャロルを歌い、開場前や終演後には、エントランスホールで大木麻理さんによるオルガンとともに上野耕平さんやコール・ヴィステリーがクリスマス・メドレーを演奏。じつに盛り沢山の内容でした。アンコールやクリスマス・メドレーの曲目情報はホームページをご覧ください。《篠田》アンケートから■前半はシェイクスピアの世界をおだやかに楽しみました。後半は若く才能あふれる演奏にとても感動しました。毎年、このコンサートを親子で楽しみにしています。(水戸市の方)■声楽の古典から現代の楽曲まで美しくつないでくれた音楽家たちに感謝です。素晴らしい夜でした。(水戸市の方)

### 最近の公演から



- 1: アルモニア Rosa 第3回コンサート
- 2: 水戸の街に響け! 300人の《第九》2015
- 3: 中村真由美&中村佳代 ピアノ・デュオ・リサイタル
- 4-5: クリスマス・プレゼント・コンサート 2015

## 茨城の名手・名歌手たち 第26回 出演者オーディション

2016年秋に開催予定の演奏会に向けて、出演者オーディションを行います。

【開催日】2016年5月15日(日)

【申込受付期間】2016年4月1日(金)～4月12日(火) [当日必着]

【審査対象部門】管楽器、打楽器、声楽(以上ソロ)、器楽アンサンブル(2人～5人まで)

【出場資格】下記のいずれかに該当し、水戸芸術館の審査において適当と認められた方  
※アンサンブルでの応募の場合、メンバーの2人以上が該当すること。

①茨城県に本籍を有する ②現在、茨城県内に居住している ③現在、茨城県内に通勤・通学している(週4日以上) ④過去に茨城県内に居住・通勤・通学したことがある(事前に要問い合わせ)

【参加費】1組2,000円

【資料請求方法】

1. 当館ホームページよりダウンロード
2. 当館エントランスホール・チケットカウンターにて直接入手
3. 82円切手を貼付し返信先を記入した封筒と、受験する楽器(編成)を書いたメモを同封の上、下記宛先まで郵送

【お問い合わせ】水戸芸術館音楽部門「茨城の名手・名歌手たち」係

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8

TEL 029-227-8118 (担当: 篠田・関根)

## 水戸芸術館では、来館者の案内・誘導などを行う臨時職員のATMフェイスを募集します。

【応募資格】短大卒業程度。土・日・祝日の勤務が可能で、接客業務が好きな方(学生は不可)

【賃金】時給800円・交通費別途支給 1次審査/書類審査 2次審査/筆記、面接

【採用日】3月8日 詳しくは、水戸芸術館総務係(TEL029-227-8111)までお気軽にお問い合わせください。

## チケット・インフォメーション

《1月30日(土)発売分》

■ちよっとお昼にクラシック IL DEVU (イル・デーヴ)

4/30(土) 13:30開演

料金【全席指定】¥1,500(1ドリンク付き)

## これからの演奏会・残席情報

○…残席あり(20席以上) △…残席わずか(20席未満) ×…残席なし  
中央…中央ブロック 左右…裏…左右ブロックおよびステージ裏 補助…補助席

◎ちよっとお昼にクラシック 幸田浩子(ソプラノ)

……………1/30(土)中央×、左右×裏×、補助○

◎ロレンツォ・ギエルミ オルガン・リサイタル……………2/3(水)1F○、2F×

◎合唱セミナー 2016(講師:栗山文昭)……………2/7(日)自由席○

◎河村尚子 ショパン・プロジェクト 第3回

……………2/11(木・祝)中央○、左右○

◎ちよっとお昼にクラシック 猶井正幸(ホルン)ほか 金管五重奏

……………2/26(金)中央○、左右○

◎Duo Reflet ピアノ・アンサンブルの世界 vol.2……………3/6(日)自由席○

◎埴美里 サクソフォン・リサイタル……………3/19(土)自由席○

◎M.L.R. & 茨城県立水戸第二高等学校コーラス部……………3/20(日)自由席○

◎水戸室内管弦楽団 第95回定期演奏会(第2部指揮:小澤征爾)

……………3/25(金)売売

……………3/27(日)売売

※1/6(水)現在の状況です。

※固定席が売り切れ次第、補助席を販売いたします。

## 水戸芸術館の主な2月のスケジュール

### コンサートホール ATM

■ロレンツォ・ギエルミ オルガン・リサイタル

2/3(水) 19:00開演

料金【全席指定】A席 ¥3,000 / B席 ¥2,000 / ユース(25歳以下) ¥1,000

■合唱セミナー 2016(講師:栗山文昭)

2/7(日) 10:00開始(16:00終了予定)

料金【全席自由】一般 ¥1,000 / 高校生 ¥500 / 中学生以下 ¥300

※楽譜代別途要

■河村尚子 ショパン・プロジェクト

第3回「マヨルカ島からノアンへ」

2/11(木・祝) 16:00開演

料金【全席指定】一般 ¥3,500 / ユース(25歳以下) ¥1,000

■第15回 大手橋プラム・コンサート(入場無料)

2/13(土) 13:00開演

■水戸市内小学校 東関東吹奏楽コンクール出場記念演奏会(入場無料)

2/20(土) 11:00開演 笠原小学校 / 15:00開演 三の丸小学校

■ちよっとお昼にクラシック 猶井正幸(ホルン)ほか 金管五重奏

2/26(金) 13:30開演

料金【全席指定】¥1,500(1ドリンク付き)

■高校生のための水戸室内管弦楽団メンバーによる公開レッスン

2/28(日) 14:30開始 入場無料(要整理券)

整理券配布場所:水戸芸術館、茨城県立県民文化センター ほか

### エントランスホール

■プロムナード・コンサート EXTRA(入場無料)

2/14(日) 忠紗友里(ピアノ) 12:00～ / 13:30～(各回30分程度)

■パイプオルガン プロムナード・コンサート(入場無料)

2/21(日) 阿部翠 12:00～ / 13:30～(各回30分程度)

### ACM劇場

■世田谷パブリックシアタープロデュース『同じ夢』

2/27(土) 18:00開演、2/28(日) 14:00開演

料金【全席指定】S席 ¥6,000 / A席 ¥5,500 / B席 ¥3,500

### 現代美術ギャラリー

■田中功起 共にいることの可能性、その試み

2/20(土)～5/15(日) 9:30～18:00 ※入場は17:30まで

[休館日]月曜日 ※ただし3/21(月・祝)は開館、翌3/22(火)は休館

[入場料]一般 ¥800 / 前売り・団体(20名以上) ¥600

※中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付添いの方1名は無料

■クリテリウム92 土屋紳一 ※料金は展覧会の入場料に含まれます。

### チケットに関するお問い合わせ

水戸芸術館チケット予約センター TEL 029-231-8000

営業時間: 9:30～18:00(月曜休館)

### 公演内容や企画に関するお問い合わせ

水戸芸術館音楽部門 TEL 029-227-8118

ホームページ <http://arttowermito.or.jp/>

公式ブログ <http://blog.arttowermito.or.jp/staff/>

ATM 便り 毎月1回茨城新聞に不定期登場

twitter @ConcertHall\_ATM

## 編集後記

都合の悪いことは全て正月ボケということにしよう、と出勤してきましたが、それにしても、体が重い。休み中、車移動ばかりしてたせいかなあ…今年も、通勤では1日1時間歩くことを誓います。雨の日も、風の日も。(り)

今度の誕生日でいくつになるんだっけ?と母に問われ、普段意識していない(しないようにしてる)せいか、思い出すまでに時間がかかった。私へ届く友人からの結婚・出産を報告する年賀状が増える度、本人より焦る母。(福)

如月(きさらぎ)の語源は一説によれば「着更着」。2月は重ね着をする寒い時期ということですね。でも今年は暖冬。去年、大寒波に襲われたニューヨークが、今年は20度を越える暖かさのこと。信じられません!(篠)

年末年始はお酒を飲む機会も多かった。酒によって思考が深まったり、斬新なアイデアが浮かんだり、形而上の世界に旅立てたりする人がいる。私はと言えば、単においしいと思うから飲む。せっかくのお酒に申し訳ない。(て)

年末は八重山の島にて三線三味。女将さんがゆるりと教えてくれて、好きなだけ弾かせてもらった。新しい人やモノとの出会いは面白い!今年も芸術館がそういう喜びに満ちた「館」であるようがんばります。(樹)

1990年に開館した水戸芸術館は、25年間の活動を経て、今年、更なる50年という節目に向けて、新しい一歩を踏み出します。多様な芸術に触れ、生きる糧を持ち帰っていただけのような施設であり続けたいと考えます。(中)

水戸芸術館音楽紙 [ヴィーヴォ]

2016年2月発行 第205号

編集発行: 水戸芸術館音楽部門

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8

TEL 029-227-8118 FAX 029-227-8130

E-MAIL [ankmr@arttowermito.or.jp](mailto:ankmr@arttowermito.or.jp)

URL <http://arttowermito.or.jp/>

編集: 水戸芸術館音楽部門(五十音順) / 石井亮子

稲田枝里子 篠田大基 関根哲也 高巢真樹 中村晃

デザイン: 藤澤絢子

印刷所: 山三印刷株式会社